

彼の敵は世界

優秀 6答案

土曜登校、おつかれさま。

高難度の課題、

問1 と 問2 に分けてお届けします。

# 本日のミッション

難解テキストの読み解きに挑戦 ～その2

キーワードを切り出せ！

セットで

プリント＆スライドのなかから、ヒ  
トラーの謎を解く上でこれが~~キ~~ー  
~~ワ~~ードだ！ と ニラんだ言葉を  
3セット切り出し、それぞれに解  
説を添えてください。

自分で言葉をつくってもよい

キーワード(3つ以上挙げてもよい)相互の関係を明示すること

A



B

A



B

A



B

## シンプルに本質、衝いてます T.Y.さん

キーワード・セットその1

破滅への意志  $\Rightarrow$  <sup>エネルギーが</sup> 牽引力

解説 すべてを滅ぼすことでさえ、意志貫徹のエネルギーとしていた。

キーワード・セットその2

道徳、宗教、人間性 = 原罪

解説 上のように、ヒトラーは考えたため、伝統や文化を破壊した。

キーワード・セットその3

盲目的服従  $\Leftrightarrow$  <sup>強者の権利という</sup> 凶暴な牽引力

解説 上のような関係の相乗効果によって、ヒトラーの牽引力はとても大きくなったのではないかと思う。

## 長めのキーワードで説明力up H.T.さん

キーワード・セットその1

彼の敵は世界 ← 世界から自分を隔離せ

解説 世界から自分を隔離した結果、ヒトラーは世界を敵とせざるをえなかった。

キーワード・セットその2

有無をいれぬ権威+理性を失った指導者の決断 = 帝国の崩壊

解説 ヒトラーには大きな権威があったが、その本人が理性を失い、その上で決断したせいで帝国の崩壊を招いてしまった。

キーワード・セットその3

理念上の装飾をも放棄+破滅の意志 = 虚無

解説 理念上の装飾を放棄し、破滅の意志をもったヒトラーにより神の命令がたされ、結果 虚無だけが残った。

# 矢印づかいが美しい M.M.さん

## キーワード・セットその1

幽霊じみたもの = 空想の産物  
(彼らの生きる部屋、世界) (作戦)

解説 もはや「負け戦」と分かりきった状況の中で、ヒトラー達の生活も幽霊じみた、現実離れしたものであり、  
←(から元気のようなパーティーなども)そんな彼らの精神が「生みだす」作戦ももはや正気のさたとは思えなかった。

## キーワード・セットその2

献身 + 盲目的服従 ↔ 虚無  
(ヒトラーの周りの人々) (ヒトラー)

解説 ヒトラーの周囲の人々が持つ、献身的、盲目的服従は、絶対的敗北決定下ではもはや無意味でしか  
ないにもかかわらず、ヒトラーという人をまっりあげたままにしてしまった。しかし、そんな人々に意志(ある意味、  
未来を望む意志)は、未来など見ず、虚無をつき進むヒトラー自身とは拮抗した。

## キーワード・セットその3

文明の理念 ↔ 虚無 ⇨ 破壊

解説 ヒトラーは「虚無の人」であった。ただそこに存在し、過去と今という「見えるもの、分かるもの」が作りだした  
文明の産物をただ「壊すのみで」、未来に向けて何かを作るという「文明の理念」を持たなかった。  
ゆえに、ただただ「破壊の道をつき進んだ」。

## 問 2

あなたは映画監督。「彼の敵は世界」というコンセプトで、国の指導者の孤独を表現してくださいとの注文を受けました。どの国を舞台に、どんな映画をつくりますか？

# 信長は魔王となった Y.Y.さん

## タイトル

## 第六天魔

説明（舞台・あらすじ・見せ場など）

織田信長は幼少期から「ラッパ者」として有名だった。彼は自分が合理的であると考えたことを実行し、それが他と合点するところから「ラッパ者」と見えた。彼は合理性を理解し、世の人々を見下す。信長が織田家を継ぎ、その合理性を政治、軍事に活用し、勢力を伸ばした成功を重ねた。信長は自らの合理的な考えを過信するようになる。そしてそれが戦国史

上で最も残忍な事件と呼ばれる比叡山火薬打ちへとつながる。中世的な勢力の根絶を目指し、信長は、その象徴である比叡山を焼く。これは世の人々は賛美した。他の勢力や家臣から信長は孤立する。そして、信長は自らを「第六天魔」と称する。

# ジャンヌは魔女となった M.K.さん

## タイトル

彼女が魔女になった理由

※ 国の指導者ではないのと、歴史と  
元にしたフィクションです。事実とは  
異なります！

説明（舞台・あらすじ・見せ場など）

フランスのジャンヌ・ダルクがテーマ。最初は国・市民・友達・家族を守る為に、たうあがり戦った。

しかし、戦争を続けるうちに、彼女は勝つことしか頭になくなり、狂気にのまれてゆく。勝利と

あさめて帰国したものの、そんな彼女が怖くなったフランスの人々は彼女を魔女裁判にかけ、火あ  
ぶりにしてしまう。彼女は火にやがれながら思った「皆の為に、国を守る為に戦った

私を殺すとは！ 私には守るべきものなどなかった。こんな本物の魔女になて滅ぼしてしまおう、  
そして、彼女は魔女となり、自分と殺した <sup>何も</sup> <sup>世界など、私が</sup>  
世界に復讐と女始める。

# 賢王は狂王となった Y.S.さん

## タイトル

自然を愛する王

## 説明（舞台・あらすじ・見せ場など）

王は地球の環境をとても大切に思っており、周りの人間もそう思い、平和に国民は自分の生活が楽であることと常にのそいである。

持続可能な発展を目指してはいない。だんだんと王の敵は文明的に生きる世界中の全ての人類となる。いき、その方針にあふれた国民が革命をおこし、王政が民主化されてしまう。絶望した王とその支持者たちはテロリストにはなり、敵である人類をほぼ完全に核爆弾をつかづ。地球を守りたいという思いが逆に地球を死の所であらうことになってしまふ。人類がほろくそ長くなり時がたち、地球は植物がよいける生命にあふれた星になつてゆく。人間は核や放射能よりも他の生物にて、これは悪悪であったのだ。

プロパガンダ

その手があったか！

1 曲め

マオ)

語

推定根拠……

歌詩検索 (wiki)

2 曲め

~~マオ)~~  
マオ)

語

推定根拠……

歌詩検索